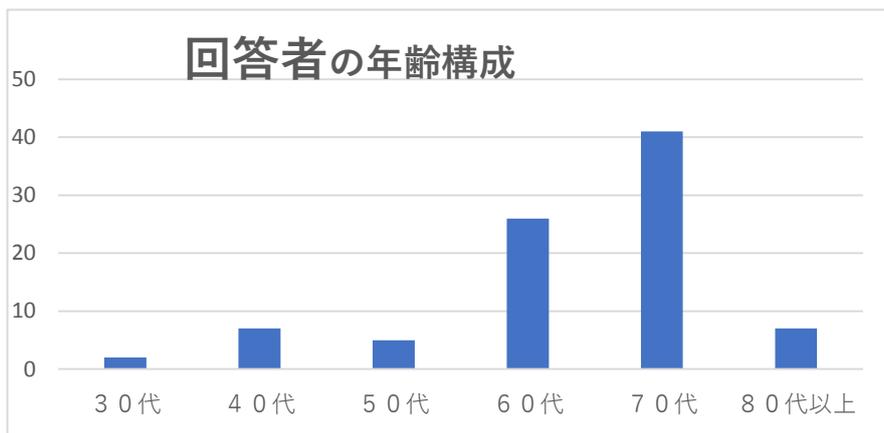


浦添市婦人連合会アンケート調査集計表 実施日 令和2年6月6日代議委員会にて配布

配布数	145枚	回収	88枚	回収率	61%
-----	------	----	-----	-----	-----

Q1 年齢構成

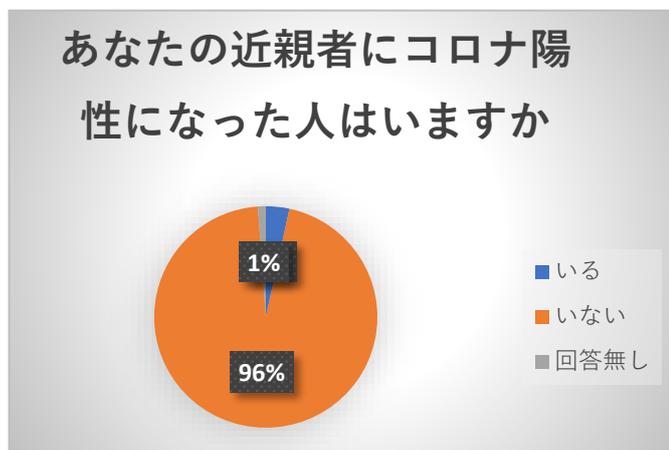
30代	2
40代	7
50代	5
60代	26
70代	41
80代以上	7
合計	88



本調査の回答者の構成は60・70代が主である

Q2 あなたの近親者にコロナ陽性になった人はいますか

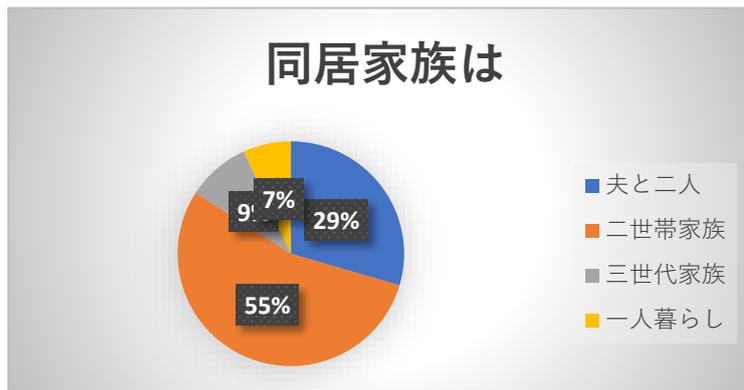
いる	3
いない	84
回答無し	1



調査結果陽性者が1%いたことがわかった。

Q3 同居家族は

夫と二人	26
二世帯家族	48
三世帯家族	8
一人暮らし	6
合計	88



回答者の年齢が60~70代なので二世帯か夫婦だけと思われる

Q4 在宅勤務になった家族は居ますか

いる	9
いない	77

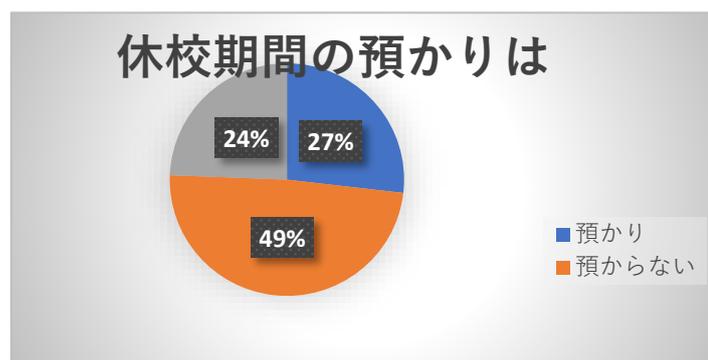
在宅勤務になった家族は10%で地域柄在宅にはならなかったと思われる



Q5 休校期間の預かりは

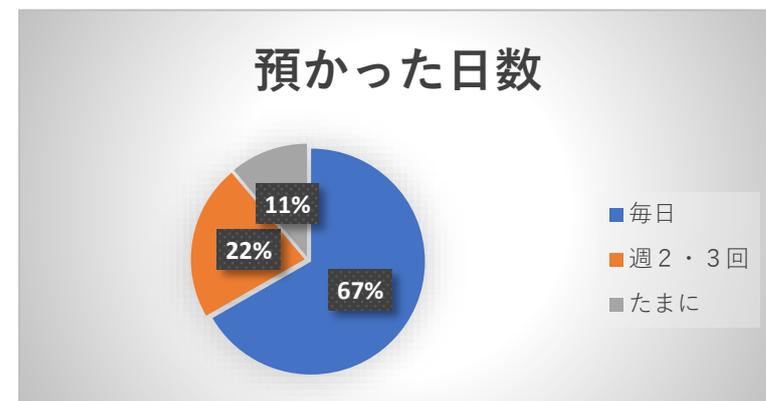
預かり	22
預からない	40
孫いない	20

回答者の年齢から、預かるほどの年齢の孫は居なかったと思われる



Q5 その1 預かった日数

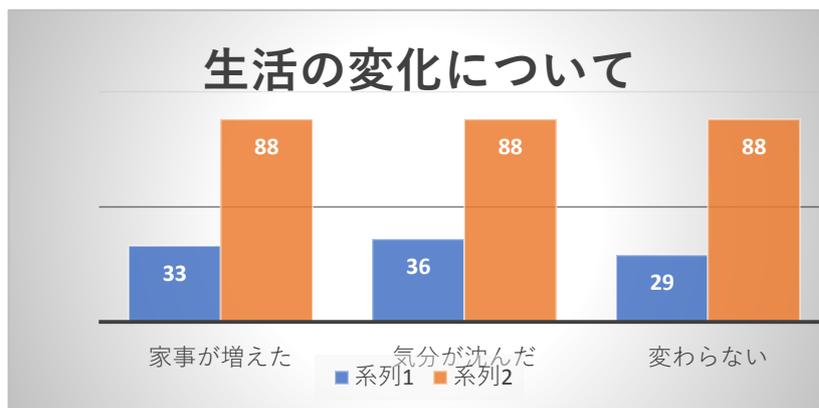
毎日	12	18
週2・3回	4	18
たまに	2	18



Q6 生活の変化について（複数回答）

家事が増えた	33	88
気分が沈んだ	36	88
変わらない	29	88

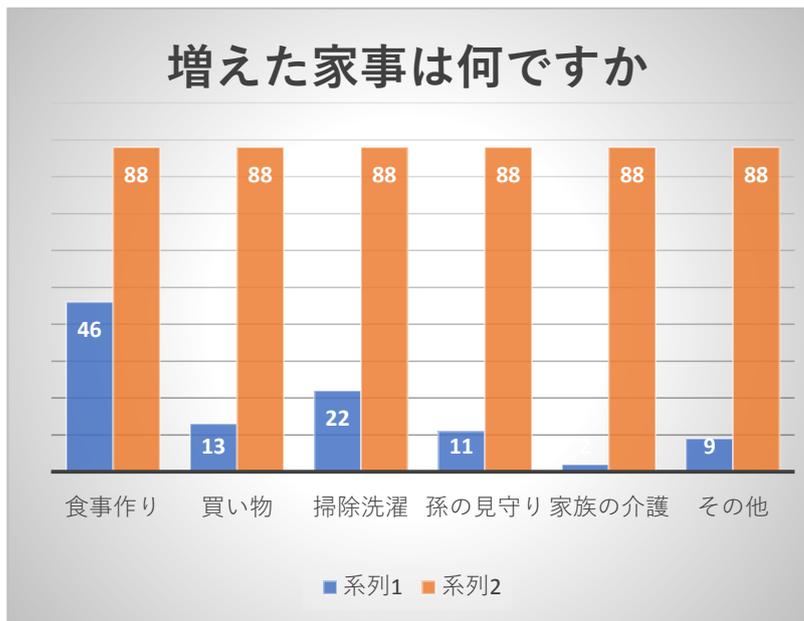
複数回答を求めたが、気持ちが沈んで、外出もできない時、家事が増えたと思われる。



Q7 増えた家事は何ですか（複数回答あり）

食事作り	46	88
買い物	13	88
掃除洗濯	22	88
孫の見守り	11	88
家族の介護	2	88
その他	9	88

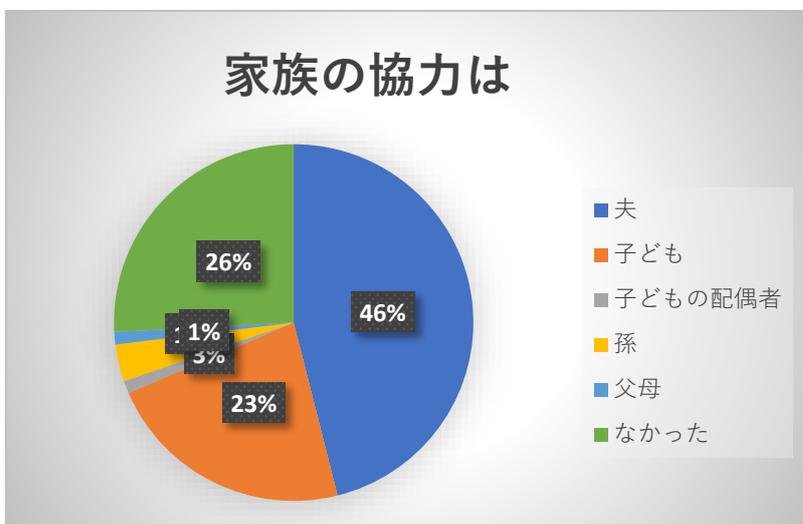
外出もできないなか、食事作りが増えたことが回答者の約52%ほど、掃除25%と多くなっていることがわかる。



Q8 家事について家族の協力は（複数回答あり）

夫	41
子ども	20
子どもの配偶者	1
孫	3
父母	1
なかった	23

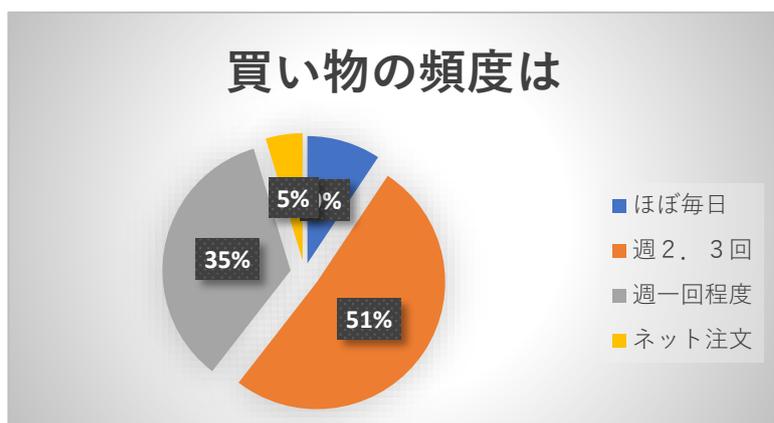
家族の協力の主は夫で買い物への協力であったかと思われる、なかったの26%は二世帯家族などで必要としなかったのでは



Q9 買い物の頻度は

ほぼ毎日	8
週2、3回	44
週一回程度	30
ネット注文	4

買い物の頻度はの質問に週1や週2～3回が最も多く、ネット注文を利用している回答者もいた。

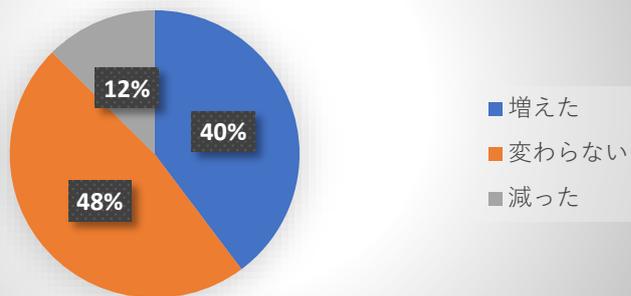


Q10 期間中の家計費は

増えた	35
変わらない	42
減った	11

増えたが40%で、変わらないが約50%あり、主婦の知恵で工夫していることが伺える

期間中の家計費は

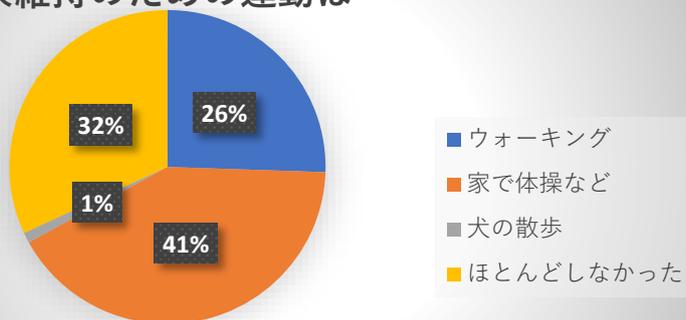


Q11 健康維持のための運動は（複数回答あり）

ウォーキング	24
家で体操など	39
犬の散歩	1
ほとんどしなかった	30

運動はの質問は家での体操が41%で外出できない事情が反映された、ほとんどしなかった32%は今後の課題としたい

健康維持のための運動は

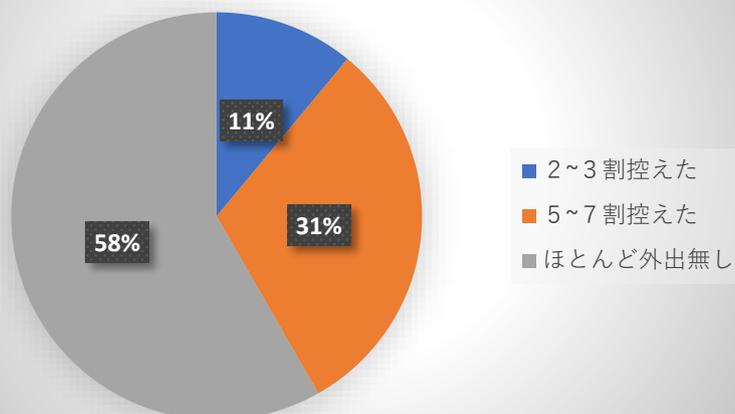


Q12 期間中に運動以外の外出は

2~3割控えた	10
5~7割控えた	28
ほとんど外出無し	53

外出無しが58%には納得ができるQ13の質問に連動するがテレビの時間ふえたに反映されている

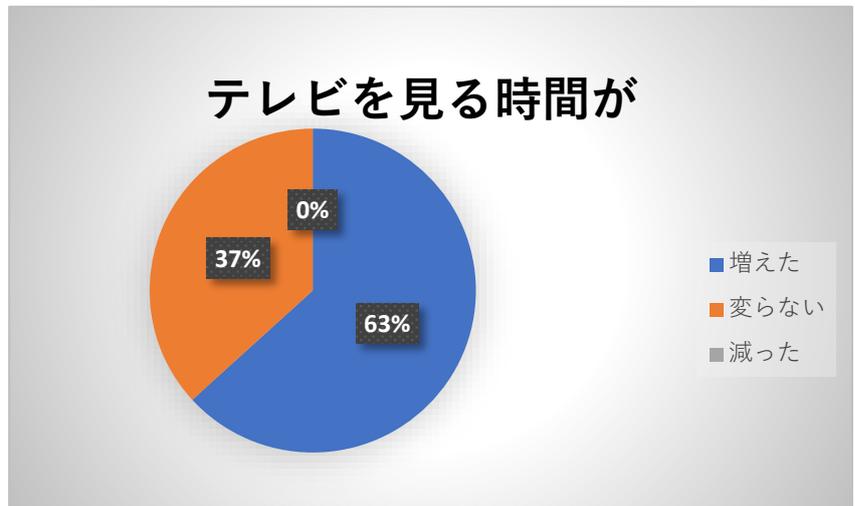
運動以外の外出は



Q13 テレビを見る時間が

増えた	55
変わらない	32
減った	0

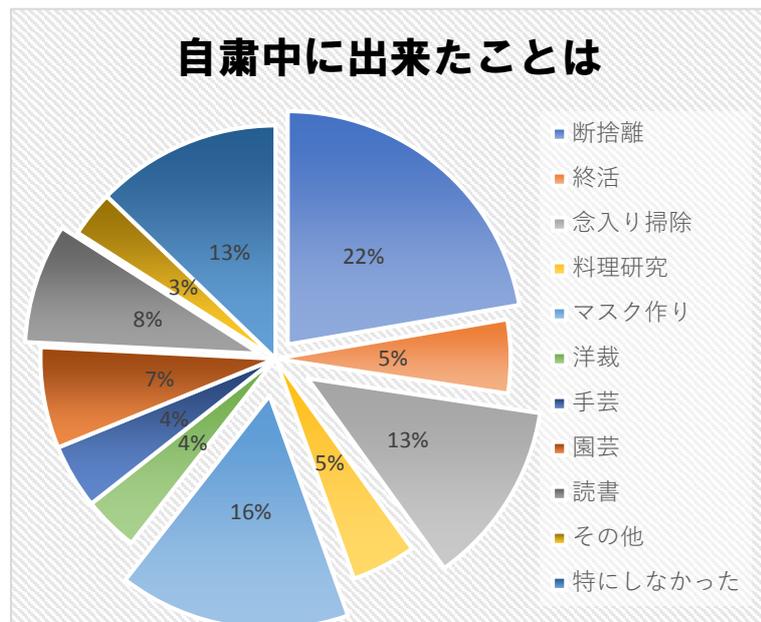
外出できない分だけテレビの時間が増えたが、テレビからの情報収集も納得できる。



Q14 自粛中に出来たことは（複数回答あり）

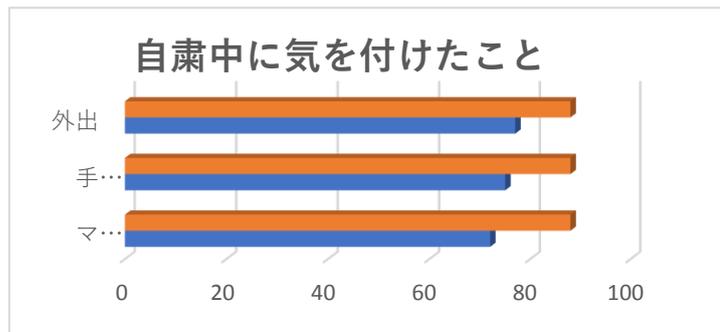
断捨離	35
終活	8
念入り掃除	20
料理研究	7
マスク作り	25
洋裁	6
手芸	7
園芸	11
読書	13
その他	5
特にしなかった	20

年齢構成から身辺整理（断捨離や終活）が想像される、マスクを作りも本市のプロジェクトに反映されている。



Q15 自粛中に気を付けたことは（複数回答あり）

マスクをつける	72	
手洗いを等の消毒	75	
外出を控えた	77	
マスクを	72	88
手洗い	75	88
外出	77	88



複数回答で、ほとんどの人が外出を控えたこと、手洗い、マスクをつける事に気を付けたことが伺える。

Q16 自粛中の良かったことや、家籠り対策に役立ちそうなアイデアがありましたら教えてください

- ・TVからのカタカナ語…..テレワーク（在宅勤務） アラート（警戒 警報）
パテーション（仕切り）等
- ・コロナ渦で出てきた日本社会のIT化の遅れという人がいるが、IT化の遅れが悪いとは思わない。
- ・科学技術から多くの恩恵を受けているが、環境破壊のように負の結果を招く側面がある。
異常気象で起こる。津波・台風・地震・川の氾濫等自然の怖さを見つめ直すことが必要に思う。
- ・料理のレパートリーが増えた
- ・柔軟体操をやったおかげで身体の調子がよい
- ・自分のための時間がたっぷりとれた。
- ・じっくり見聞くことを学びました。別の意味でいい時間が取れました。
- ・子どもたちとの会話や、家事の手伝いをしてもらいました。
- ・断捨離
- ・通常の仕事、ボランティア、地域活動が減り、私的生活時間が増加、ゆとりの時間増による
体調管理に大いに役立ちました。
- ・作り置き食品
- ・家族の話し合い等が多くなりました。（子どもたちが大人になり顔を合わせる機会なかつたので）
- ・これまでの生活の見直し、時間を気にせず読書ができた。
- ・免疫力をつける事の大切さを情報番組で再三やっていたので、今まで以上に料理に気を配り、
たんぱく質などを意識した事です。
- ・家計の系図や、年表等家族の実情を見つめることが出来、ご先祖様への感謝の心や絆のネット
ワーク等整理する中かあら（美の中から）うまれる心の向上大切だと思います。
- ・手紙を書く時間がとれた。
- ・テレビで多くの方々が紹介していた。家の中でのストレッチ体操などがよかった
- ・テレビの料理番組を見ていろいろ勉強になっております。
- ・小物作りをやった。
- ・家族団らん
- ・自粛中に誕生した双子の孫の面倒見が一日中家にいても苦にならなかった。
- ・読書、掃除

アンケート調査を実施して【 考 察 】

4月から5月にかけての自粛中の当会員の生活状況のアンケート調査は、文化
教養部・生活部の初めての共同作業になった。6月の代議委員会で調査用紙を
配布し、当月の15日までに回収し集約できたことは初めての経験ではあるが
会員の状況を把握して今後の活動に反映する目的を達成した。コロナ渦の時代
に今後の第2波、第4波に向けた生活の変化について共に学習し生活の質の向
上に向けた取り組みになれば幸いです。